

T F C

町内では昨年6月、映画・テレビ番組・CMなどのロケ撮影を誘致し、撮影支援を行う「当別21夢倶楽部フィルムコミッション(TFC)」が設立されました。町民有志で作ったTFCでは、映像を通じて、雄大な自然や景観などの当別の魅力と活力の創出を図るために活動中で、昨年9月には、川下小学校で初仕事を終えました。今回は、「当別の魅力」などを再発見しようとして模索するTFCによる活動を紹介します。



川下小学校で行われたロケーション撮影。日本テレビ系の番組「火曜サスペンス劇場」の舞台となった同小学校には、俳優の六平直政さんが訪れました。

当別の魅力の再発見に一役「フィルムコミッション」

フィルムコミッションって何？

皆さんは映画の舞台となった撮影場所を訪れ、あたかも主人公になったような気分を味わってみたいなどと思ったことはありませんか？

北海道は四季折々の景色などに恵まれている映像資源の宝庫ですが、そんな北海道の素晴らしさを映像を通じてPRしようと、映画などのロケーション誘致のため、制作者に代わって撮影場所の手配・交渉を行い、ロケを支援する組織「フィルムコミッション」(通称「F C」)が、道内でも立ち上がっています。

道庁では、F Cの担当窓口「北海道ロケーションサービス」を平成13年4月に設置。道内のロケ適地を登録し、「まちづくり」に役立てようとするだけでなく、ロケ地に関する情報の提供、道路や公共施設の使用許可などの手続きを迅速に行い、ロケの支援・誘致に取り組んでいます。

F Cの活動により、「まちの魅力」が引き出されるほか、映像を通じて観光振興や経済の活性化などにつながるものとして期待されています。

また、当別には田園風景・豊かな森林などがありますが、F Cは町民による「まちの魅力の再発見」、そしてまちの知名度や関心を高める役割を担っているものです。

T F Cの誕生まで

実行委員会の主催で昨年3月、自然の大切さや教育のあり方などについて映像化した文部省推薦の映画「森の学校」の上映会が町内で開催されました。

上映会では、西垣監督と蔵岱出身で制作スタッフの守実淳さんを迎えてのトークショーも実現。その際に、「映画の続編を北海道で撮影したい」との話があり、商店主や映画好きの町民が中心となり、「当別でフィルムコミッションを立ち上げ、ロケ隊の受け入れ体制を作ろう」とF C設立の機運が高まり始めました。

昨年4・5月には、北海道ロケーションサービスの平野正明さん(5ページ参照)を招いて、ロケの対応などについての勉強会を開き、着々と設立の準備を進めていました。そして6月、「当別21夢倶楽部フィルムコミッション(TFC)」として立ち上がったものです。

町民有志(民間)で設立されたF Cは、道内では当別が初めてのことです。

